

# コニカミノルタにおける 導入促進に向けた介護現場への支援取組事例

2022/7/14

コニカミノルタ株式会社  
QOLソリューション事業部  
カスタマーエンゲージメント部  
フィールドサービスグループ  
西日本サービスチームリーダー  
秦 政輝

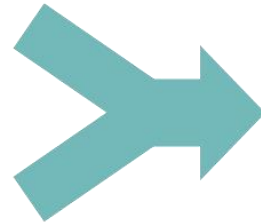
# HitomeQケアサポートのご紹介

## カメラ事業で培った光学技術を社会課題へ

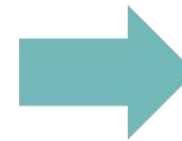


KONICA MINOLTA

日経SDGs  
経営大賞2019  
受賞



2006 : フィルム・  
カメラ事業撤退



デジタル  
トランスフォーメーション

workplacehub



HitomeQ  
Care Support

## HitomeQ ケアサポートは ICT環境の提供と働き方変革支援で 介護DXをご支援

### ICT環境の提供



利用者様の行動を見守り、  
スタッフ様の業務負担を軽減

### サクセスサポート



介護オペレーションの変革を伴走

- ※保有資格（ProStaff全員取得）
- ・スマート介護士資格
  - ・介護初任者研修

### データ活用



科学的介護の推進・  
ケア品質の向上

## 見てから駆け付け/その場で記録/一目で確認で生産性の向上

### 情報連携支援

記録・情報連携を効率化



### ケア判断支援

通知映像で次のケアを判断



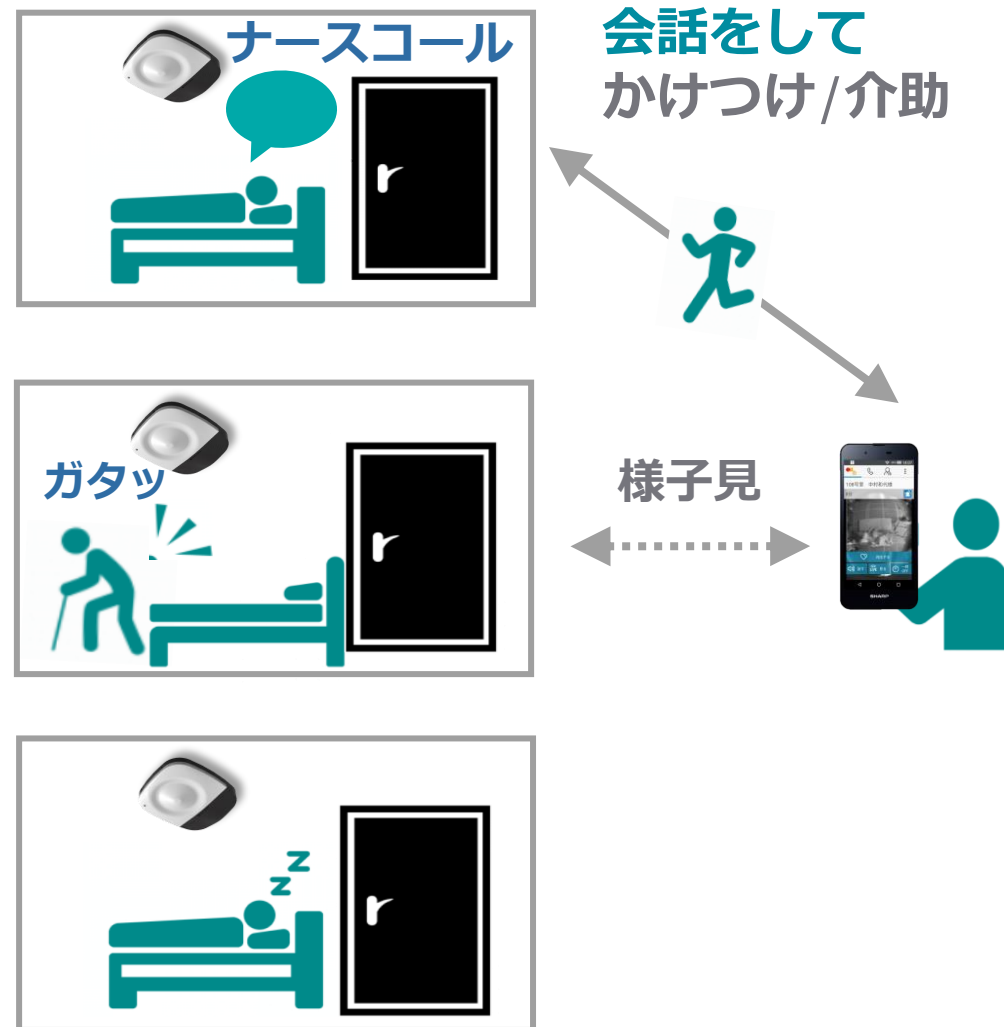
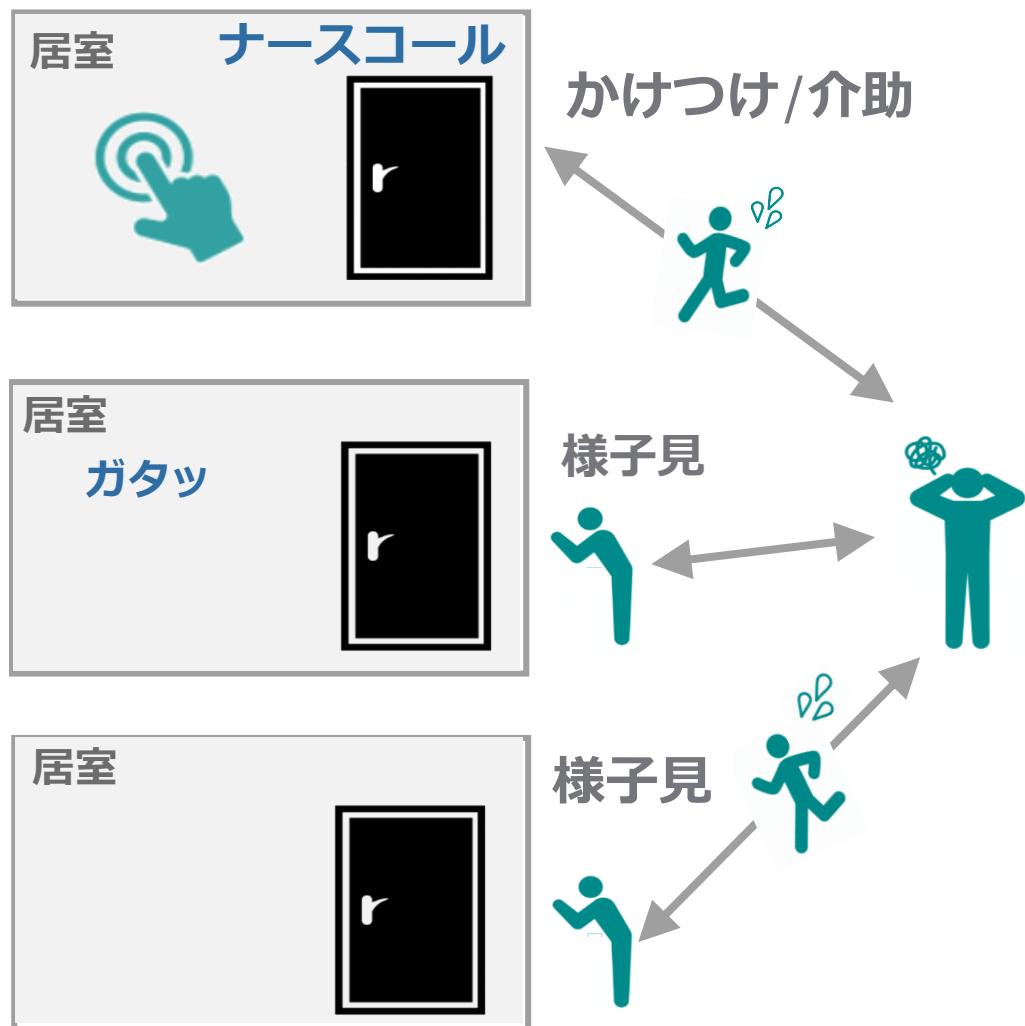
### 状況把握支援

状況を一括把握  
エビデンス動画で確認

# 従来からの変化

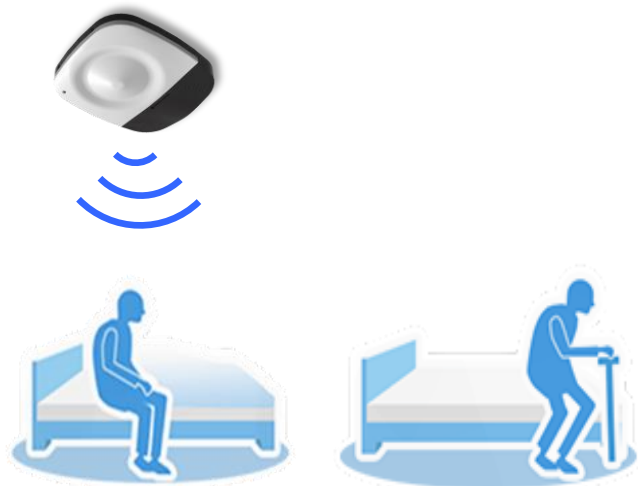
従来：とにかく駆け付け

導入後：見て・判断・かけつけ



# 「見て判断して駆け付け」

映像通知・お声掛け機能で、離れた場所からも入居者様の状況を把握  
適切なケアとスタッフ様の身体的・精神的負担の軽減を実現します



起床・離床・転倒・転落

映像でお知らせ



状況を見て  
次のケアを判断



効果

スマホで確認し訪室が可能

⇒お声掛けにより一部の駆け付けが不要となる

⇒映像通知により、離れた場所でも入居者様の状況を把握

居室に入室せず入居者様の状況が把握できる

⇒無駄な駆け付け、訪室回数が削減

訪室の優先順位付けが可能となる

## 見守りICT導入時のポイント（失敗事例からの学び）

# ①プロジェクトチームを立ち上げる

導入後の円滑な定着のためには、施設全体のメンバーを組み込むことが重要

メンバーと  
役割を決める

施設に合った  
行動憲章を  
作成する

トップから取組を  
施設全体に  
周知する



理事

承認



施設長



看護部長

管理責任



介護科長



介護主任

検討チーム



ケアマネ



看護主任

行動憲章

- 目的  
\_\_\_\_\_
- 進め方  
\_\_\_\_\_
- 日程  
\_\_\_\_\_

議事録

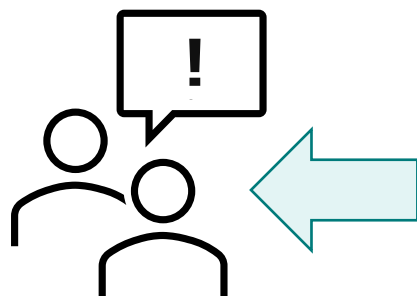
- 日時  
\_\_\_\_\_
- 参加者  
\_\_\_\_\_
- 議事  
\_\_\_\_\_



理事・施設長からの  
トップダウンの指示が



## 良い方向に働く場合



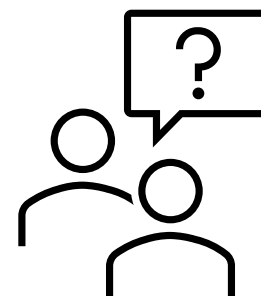
- ・ 目的・きっかけ
- ・ 将来構想
- ・ 予算・裁量
- ・ トップ責任
- ・ 後押し

現場スタッフが

- ・ 目的を再認識する
- ・ 変化に対する不安や進め方を  
組織で共有する事で安心感が生まれる



## 悪い方向に働く場合



- ・ 付き合い
- ・ 現場を無視した理想
- ・ 偏った意見の反映

現場スタッフが

- ・ 背景や目的が分からない、
- ・ 使うモチベーションが損なわれる

## ②施設の課題にあったサービスを選ぶ

施設のどのような課題を解決し、ワークフローにどのような影響が出るのか？

### 介護ロボットの例

移乗支援



装着型パワーアシスト

移動支援



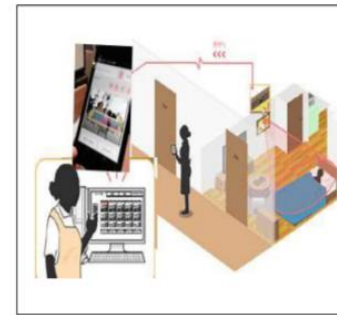
歩行アシストカート

排泄支援



自動排せつ処理装置

認知症の方の見守り



見守りセンサー

今や介護業界には様々な機器/サービスがあふれています。  
**施設の課題・目指す姿を明確にして、想定効果だけでなく  
自施設のワークフローがどのように変化するか想定することが成功のカギ**

「とりあえず体験」も非常に有効ですが  
**①施設の目的が達成できるか ②変化する事に対応できるか**  
を同時に見定める意識がないと、マイナス意見に偏る可能性があります

# 施設の課題とマッチしていない場合の例

転倒を抑制したい

センサを導入して転倒  
リスクに気づきやすくする

通知起点でリスク  
直前に駆けつける

センサで気付けない事例が発生、  
間に合わない場合がある

センサ/設定範囲を増やす

現場が疲弊する



## 目的と課題設定のミスマッチ

- ・そもそも転倒を抑制して実現したい事は？
- ・適正な転倒件数の情報がない中でどこを目指す？
- ・家族とどのような転倒抑制を握れている？
- ・職員はどのような転倒を防ぎたいと思っている？
- ・どのような入居者像の転倒を減らせると考える？
- ・職員負担はどう考える？

## ワークフローのミスマッチ

- ・センサー対応のワークフローが具体的にどう変わる？
- ・センサ対応は何分に何回くらいの業務ボリューム？
- ・導入機器で全ての転倒を減らせる？
- ・施設の転倒課題で主成分の転倒種別は？
- ・どのように使えばどの種類の転倒が減らせる？
- ・その転倒はセンサを使って減らせる？

## 対応策のミスマッチ

- ・負担軽減のつもりが負担増になっている？
- ・センサで直接減らせる転倒と間接的に減らせる転倒は？
- ・転倒を減らすのにセンサ以外にやるべき事は？
- ・他職種の意見を反映できている？
- ・現場は納得できている？

# 施設の課題とマッチさせた場合（例）

## 転倒を抑制したい

### リスクマネジメント の組織体制

組織として標準化された  
対応ができていない

対応指針  
を整備する

組織を再  
構築する

アセスメント  
を見直す

事故の振り返り  
方を変える

カメラ情報など  
職員が機器から得る情報を  
共通言語化する

事故防止委員会にて  
エビデンスに基づいた事故分  
析を行土壌を作る

### 安全教育の徹底

継続運用

入職者教育

チェック体制  
の構築

責任の明確化

画像エビデンスから  
ヒアリハット/改善事例を作成す  
る目的の体制を作る

職員個人指導の用途範囲  
組織教育の用途範囲を明文化する

### 施設として特に 防いで行きたい事故内容

ADL向上に  
伴うリスク上昇

施設環境由来

入居者の変化

事故件数

家族要求

転倒時録画から環境整備箇所  
を新たに見つけ水平展開し  
根本抑制を強化する

カメラセンサを用いて駆付けを効  
率的に行い職員負担を増やさず多  
くの高リスク利用者に対応できる  
ようにする

**コツ：目的/目標を明確化し運用内容を具体想定する**

### ③導入後の定着も事前の計画に入れる

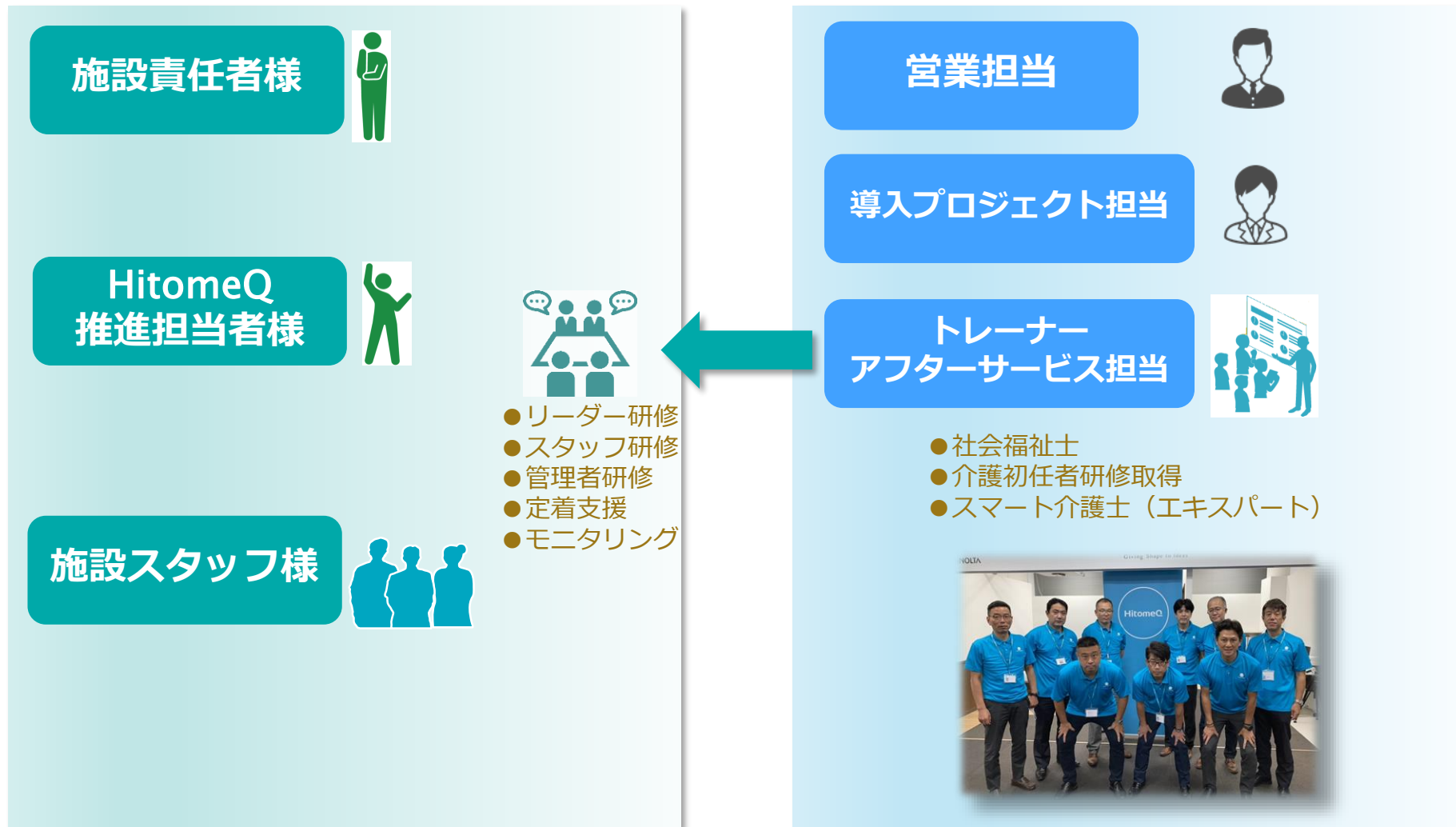
見守りICT・介護ロボットは導入してからがスタート  
目指す姿に向けて、日々の業務に落とし込めるよう事前に計画を立てます



コツ：測定可能な評価方法を用意する

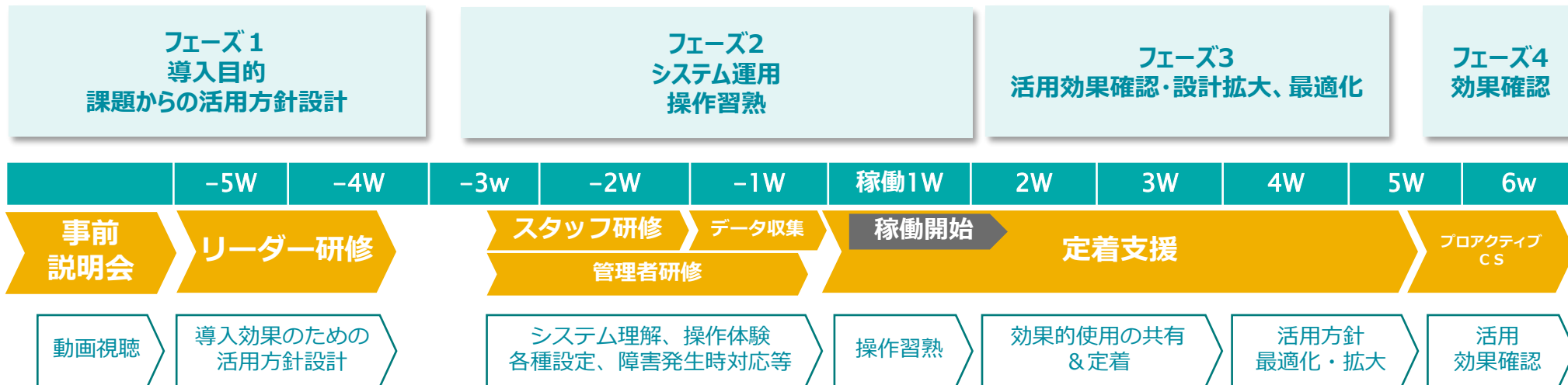
# HitomeQケアサポート 導入支援サービスについて

# 導入支援 担当者設定



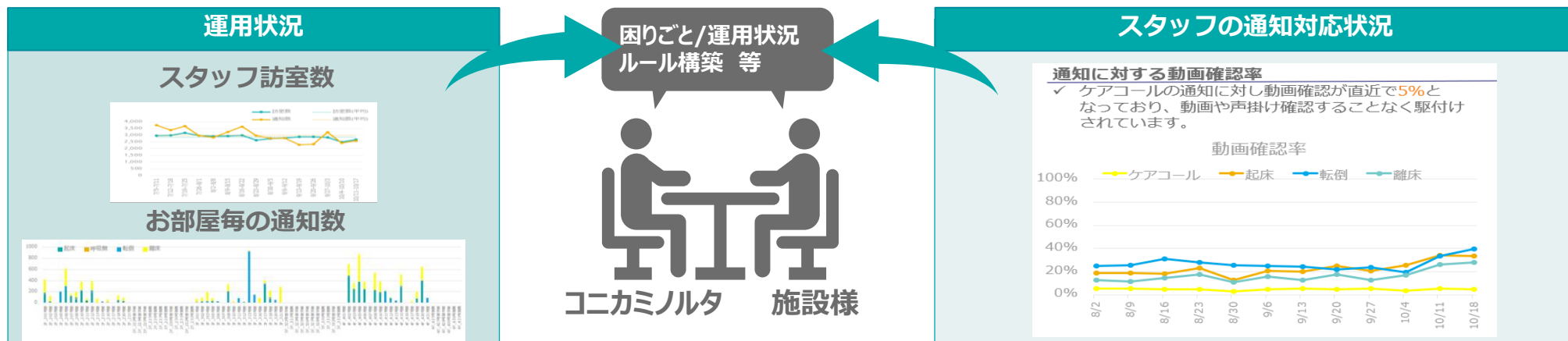
# 導入支援サービスの事例

弊社専門スタッフが施設現場にてスタッフ様への研修/立上げ支援を実施させていただくことで、現場混乱なくスムーズな運用を実現します。



導入時の研修後も運用状況、スタッフの対応状況についてデータを元に継続的に支援させて頂いております。

## ■ 導入後サポート



## ■ データ分析結果 基本操作（データサンプルの一例）

データ分析項目	内容	〇〇ホーム様	推奨値
通知対応率	通知を放置せず対応ボタン押下出来ているか	86%	90%以上
Live使用率	LIVE機能を利用出来ているか	22%	20%以上
訪室率	通知画像に対し訪室判断が出来ているか	7%	30%以下

## 導入時期を施設様と共に乗り切るためのコツ

# 現場定着には組織対応が不可欠

## 現場定着をするために事前に役割設定が重要

役職	役割	コツ
導入責任者 (施設長クラス)	<u>目的/目標/課題設定</u> 運用方法の承認 全体管理	<u>目的/目標を明確にしブラさない</u> 導入初期のスタッフからの不安は迅速に処理する
リーダークラス	運用推進 問い合わせ対応 習熟評価 課題進捗管理 <u>情報共有 (IN/OUT)</u>	<u>リーダークラスの理解浸透</u> <u>スタッフへの周知の徹底 (責任明確化)</u> 運用に関する会議体の設定 課題集約の体制作り 自らがまずは使ってみる
一般スタッフ	<u>実行</u> 意見出し	<u>良い使い方をするキーマンを見つける</u> <u>理由なく「使わない人」を作らない</u> 導入時期に発生した課題をすぐにリーダーへ伝える ICTを用いた解決アイデアを出す

# HitomeQ

Care Support



KONICA MINOLTA